



特
集

村への「里帰り」 音威子府展 U22

Otoineppu public relations magazine
森とともに一人ひとりの匠が活躍する村

広報 おといねっぷ

no.588

2023
令和5 9

夏の新たな風物詩！ 森と匠の村ふるさと納涼まつり

8月17日（木）、第1回目となる「森と匠の村ふるさと納涼まつり」が行われました。コロナ禍で中止を余儀なくされていた夏の各イベントを統合した新たなイベントとして、屋台やキッチンカーをはじめ、ジャグリングや歌謡ショー、盆踊りと、さまざまな催しが行われました。

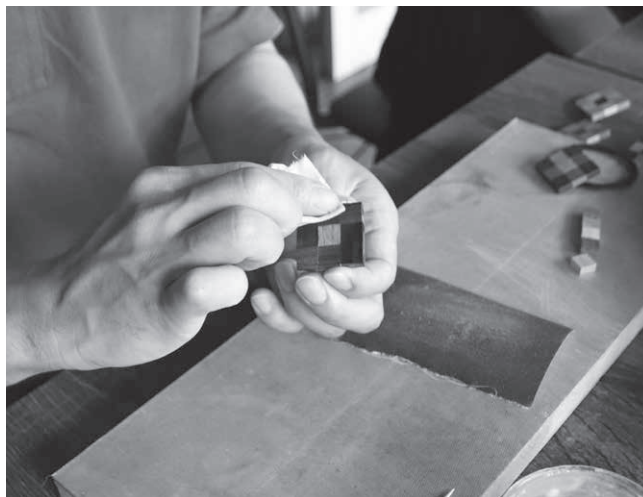
当日は、あいにくの不安定な天候でしたが、久々に村で開催された夏のイベントには、多くの村民の皆さまが訪れていたほか、村出身の方々も里帰りし、懐かしい昔話に花を咲かせている様子も見られました。

順延となった花火大会は21日（月）に行われ、公民館前に訪れた皆さまは、今季最後の夏の風物詩を、思い思いに楽しまれました。



自分だけの小物づくり！ エコミュージアムでワークショップ

8月19日（土）、20日（日）、エコミュージアムおさしまセンターにて、寄木細工のコースターやヘアゴム、ブローチを製作するワークショップが行われました。これは、おと高卒業生の加藤瑛瑠さん・金丸虎次朗さん・馬場さくらさんが立ち上げた「工房そなも」によるもので、三人展（8月号参照）に合わせて実施されたものです。



美味しいパンの秘密、教えます！ 農畜産物加工施設パン作り講習会

8月26日（土）農畜産物処理加工施設にてパン作り講習会が行われ、講師を務めた土里夢の会の方に教わりながら、4名があんパンやメロンパンなどを作りました。教室に参加した菅原小春さん（おと高3年）は「土里夢の会がつくるあんパンが好きで、自分で作ることができてうれしい。次はもっと多くの友人を連れてきたい」と話されていました。



おと高卒業生と、デコ盛り♪ 公民館教室・デコフレームづくり

8月29日（火）、公民館教室・デコフレーム講習会が行われ、20名の方が参加しました。参加された方は、講師を務めた小谷真夕さん・今野菜々美さん（ともにおと高2021年度卒）との会話を楽しみながら、色付けしたシリコン製コーキング材やスパンコールなどを使ってフォトフレームなどを華やかに飾り付けました。



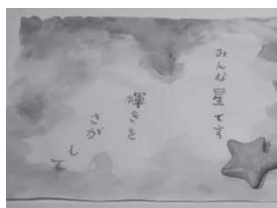
音威子府展U22・2023

「おと高卒業生の「里帰り」」

2023/8/21・9/18

卒業生の活動を、地域で応援！

8月21日（火）から「音威子府展U22・2023」が、エコミュージアムおさしまセンターにて開催されています。本展示は、今年2月に札幌市にて開催した、おと高を卒業したアーティストを応援し、地域をPRするイ



ベントの第2弾として企画されました。コンセプトは「おといねっぷへの『里帰り』」で、22歳以下の卒業生を対象にした公募展形式で行われ、4名が出展しました。

展示方法やトークセッションなど、出展アーティストが準備段階から中心となって作り上げたほか、出展期間中には4名それぞれが来村し、地域の方々と現役のおと高と交流しました。

2回目となる今回は、「音威子府村だからできること」に重点を置き、卒業して間もないアーティストとおと高生、教職員、地域の方が交流することで、関係性の深化につながりました。また、作品展を協働で創り上げることで、地域への愛着醸成や、地域の賑わい増加に寄与することができました。今後もおと高生と卒業生、地域の方とのつながりづくりを大切にするとともに、作品展はもちろんです。作品展にこだわらない卒業生との交流機会についても模索していきたいと考えています。



地域のみなさんと交流！
「トークセッション」

出展アーティストが滞在していた8月21日と9月1日（金）にそれぞれ、エコミュージアムおさしまセンターにてトークセッションが行われ、延べ20人以上の方と交流しました。

トークセッションでは、出展アーティストそれぞれから、出展作品の解説や現在の活動および学業のようす、高校生時代の生活のことや今後の展望などについて話されていました。また、地域の方からの作品に関する質問に答えたり、アーティストから地域の方へ、逆に質問をするなど、和やかなひとときが流れていました。



また、9月1日には、現役おと高生を対象にしたトークセッションが高校図書室にて行われ、おと高生・教職員合わせて24人と交流しました。おと高生からは、受験や進路について、高校在籍中の制作についてなど、熱心に質問があったほか、トークセッション終了後も個別に質問するなど、卒業生と在校生の貴重な交流機会となりました。

作品名 しろ



このななみ
2022年3月卒
京都芸術大 在学
立体造形



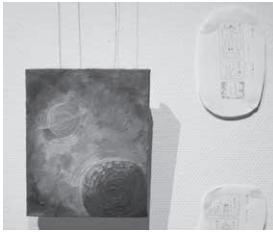
作品名 私の雪山



小谷真夕
2022年3月卒
秋田公立美術大 在学
コンセプチュアルアート



作品名 ☆



ひろせなな
2022年3月卒
武蔵野美術大 在学
絵画



こみなな
五三和
2022年3月卒
秋田公立美術大 在学
陶芸



作品名 卵土器(他5点出展)

今回出展いただいたアーティストのうち、3名の方からメッセージを頂きましたので、ご紹介いたします。

今回、展示を通して村の方々や高校生と交流することができ、音威子府村との関わりを深められた気がします。季節外れの猛暑が続く中、トークセッションも多くの方にお越し頂き、貴重な経験になりました。ありがとうございます。

箴島に滞在するのは初めてだったので、短い期間の中でも、高校生の時には知らなかった村の魅力に触れることができました。

今後定期的に足を運び、いくつか個展を開催できたらと思います。その時はまたお会いできることを楽しみにしています。

五三和

今回、音威子府展U22に参加することができ、とても嬉しかったです。高校の同級生と音威子府村で展示をする機会は高校在学中にはあまりないことで、さらにそれぞれの道に進んだ同級生との再会が良い刺激になりました。

私が在学していた当時は新型コロナウイルスの影響もあり、村民の方との交流がほとんどなかったのですが、今回の音威子府展U22で村民の方と交流できたことがよかったです。講習会(※3ページ参照)やトークセッションにたくさんの方が参加し、優しく接してくれて、私の帰る場所は音威子府なんだと感じました。

音威子府展U22でたくさんの方のことを学びました。これから大学でしっかりと学び、成長して音威子府に還元していきたいと思っています。

このななみ

今回参加させていただいた音威子府展U22は、自分自身初めての事が多く、アーティストとして、おと高卒業生として、トークセッションやワークショップに臨むのに、緊張と責任と不安で身が引き締まる思いでした。しかし、高校の先生や先輩はもちろん、村民の方々までも私たちの活動に興味を持ってくださり、楽しんでイベントに参加してくださいだったので、本当に嬉しく、自分自身の活動に自信を持つことができました。

アーティストにとって、砂澤ビッキさんのように、生い立ちが作品の一部です。私のターニングポイントである音威子府村は作品を作り続ける限り、全国各地でも名前を挙げることにあります。このようにずっと制作を通して音威子府村と関わり続けたいと思っています。

小谷 真夕

自然の猛威 大雨により水害が発生

8月6日(日)、大雨による水害が発生し、箆島地区・茨内地区・咲来地区など広い範囲で浸水が確認されました。また、住宅への浸水被害(床上浸水1件、床下浸水1件)や農地の冠水(確認できただけでも約40ヘクタール)、国道275号線の通行止めなども発生し、住民生活に大きな影響がありました。

消防団員や消防職員・役場職員らが、住居浸水対策として土の積みを実施したほか、ポン

プ車による排水作業などにあたりました。

浸水被害に遭われた方が、音威子府村公民館に一時避難するなどの影響がありました。幸いにして人的被害はありませんでした。

近年、線状降水帯や局地的な大雨など、台風以外での大雨災害が全国で多発しています。『もしも』の事態に備えて、日頃から防災意識を持ち、できる備えをすることが大切です。



ALT・ブリジット先生 就任のごあいさつ

このたび、ALT（外国語指導助手）としてブリジット・マッカーシー先生が就任されました！
8月より、幼児センターや小中学校・高校を中心に、村の外国語教育にご尽力いただいています。
ブリジット先生からメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

はじめまして、ブリジット・マッカーシーと申します。ブリジットと呼んでください。出身はアメリカのボストンです。ボストンの気候は音威子府と似ています。四季はありますが、冬は長くて、雪が多いです。音威子府の四季を体験することを楽しみにしています！趣味は絵を描くことと漫画を読むことです。

音威子府の優しい人たちに会い、また美しい自然に囲まれて嬉しいです。新しい友達に会うのが好きなので、一緒に話しましょう！どうぞよろしくお願いたします。

ブリジット



国民年金保険料の免除期間や納付猶予期間がある方へ

国民年金保険料の免除（全額・一部・法定免除）、納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金（65歳から受けられる年金）の受取額が少なくなります。将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、免除等の承認を受けた期間の保険料について、10年以内であれば遡って納める（追納）ことができます。

ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3年度目以降の追納の場合、免除当時の保険料額に一定の加算額が上乗せされます。

追納は、古い月のものから納付することとなりますが、次の点にご注意ください。

◇一部免除を受けた期間は、納付すべき保険料が納付

されていない場合は追納はできません。

◇「法定免除・申請免除期間」が「納付猶予期間・学生納付特例期間」より先に経過した月分である場合は、どちらかを優先して納めるか本人が選択できます。

詳しくは、「旭川年金事務所」又は「ねんきんダイヤル」にお問い合わせください。

- 問 日本年金機構旭川年金事務所 ☎ 01166 - 27 - 1611
- 問 ねんきんダイヤル（年金相談） ☎ 0570 - 05 - 1165
- 問 住民課課住民生活室 ☎ 5 - 3312

子育て世帯の皆さま 申請はお済みですか？

申請期限は
令和5年 **9/30** まで

※郵送の場合は当日消印有効
※令和5年8月1日(火)から9月30日(土)までにお生まれの新生児を対象に申請する場合の申請期限は令和5年10月31日(火)まで

北海道

お米・牛乳子育て応援事業

北海道は、食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減と道産品の消費拡大を図るため、平成17(西暦2005)年4月2日から令和5(西暦2023)年9月30日までに生まれの子ども(対象児童)がいる北海道内の世帯に商品券等を支給します。

支給品 支給対象の世帯ごとに、次のいずれか1つ(8,160円相当分)

- △商品券(「おこめギフト券」または「おこめ券」と「牛乳贈答券」)
- 電子クーポン(北海道産の「米」と「牛乳」が購入可能)
- 北海道米セット(ゆめぴりか(5kg)2袋・ななつぼし(5kg))※送料含む

①精米セット または ②無洗米セット ※どちらか1セット

申請方法 電子申請 または 郵送申請

お問い合わせ先
北海道お米・牛乳子育て応援事業事務局コールセンター TEL.011-350-7371
受付時間：9:00～17:00 (年末年始を除く)

電子申請はスマホが便利！



自衛官の募集について

◇自衛官候補生（男子・女子）10月試験

応募資格	18歳以上 33歳未満 ※令和5年4月1日現在
受付期間	受付中～10月3日（火）締切 ※10月以降の試験も随時受け付けています
試験日	令和5年10月9日（月祝）、10日（火） ※いずれか1日を指定できます
会場	細部受付時にお知らせいたします



狩猟期間中における道有林への入林は控えてください

エゾシカの狩猟期間中（10月1日～3月31日）は、多くのハンターが道有林へ入林します。狩猟に伴う事故防止のため、この期間の狩猟目的以外での入林はお控えください。エゾシカによる農業・森林被害の低減のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



問 自衛隊旭川地方協力本部名寄出張所
☎ 01654 - 2 - 3921

問 総務課総務財政室
☎ 5 - 3311

問 上川総合振興局北部森林室
☎ 2 - 1726

問 経済課産業振興室林政係
☎ 5 - 3313



音威子府村立診療所 専門外来診療日 10月分



整形外科

診療日

10月6日（金）
10月13日（金）
10月20日（金）
10月27日（金）

診療時間

11:30～12:30
14:00～15:50

皮膚科

※予約制

診療日

10月16日（月）
診療時間
14:00～16:00

超音波検査

※予約制

検査日

10月7日（土）

※医師にご相談ください※

音威子府村立診療所

☎ 5 - 3321

診療時間について ※9月まで※

	月・火・木曜日	水曜日	金曜日	第1・第3土曜日
一般外来	9:00～11:00 14:00～16:00	9:00～11:00	9:00～11:00 14:00～17:00	×
発熱・感染症外来	11:00～11:30 16:00～17:00	11:00～11:30	×	×
予約外来・エコー外来	-	-	-	9:00～11:00

※受付は診療終了時間10分前までにお願いします※

診療案内

・休診日：第2・第4・第5土曜、日曜、祝日

外来の変更について

10月より、外来が下記の通り変更となります。

- 1) 土曜日の予約外来が終了となり、休診となります。
- 2) 金曜日の受付時間が、15時50分までとなります（整形外科も同様）。

受付時間	月・火・木曜日	水曜日	金曜日	土曜日
一般外来	9:00～10:50 14:00～15:50	9:00～10:50	9:00～11:00 14:00～15:50	×
発熱・感染症外来	11:00～11:30	11:00～11:30	×	×

※発熱・感染症外来受診時には、事前に電話連絡をお願いいたします。 電話連絡時間 8:50-10:00

保健福祉センターだより

健康・福祉に関するさまざまな情報をお伝えします

気付きにくい「低栄養」

低栄養とは「健康的に生きるために必要な量の栄養素が摂れていない状態」のことを指します。病気が原因で低栄養状態になることもありますが、一般に高齢になると食事の量が少なくなり、あっさりしたものを好むようになるため、食事に偏りが生じやすくなります。

このような食生活を長く続けると、たんぱく質やエネルギーが不足し低栄養状態となるリスクが高くなります。また果物や生野菜・肉類をあまり食べず、野菜類もよく煮たものしか口にしなくなると、ビタミンやミネラル類も不足しがちとなります。固いものや繊維質の多いものを食べるのが難しくなるため、食物繊維が足りなくなることもあります。怖いのは、低栄養状態は自覚症状がほとんどなく、気がつかないうちに陥ってしまうことです。



チェックポイント

心当たりがあったら要注意！

- ・食事は1日1回か2回で大丈夫
- ・ご飯と漬物、汁物があれば充分
- ・体重が減少してきた（半年で2～3kg以上）



低栄養にならないためには？

- ・1日3食きちんと食べる
- ・色々な種類の食品を食べるように意識する（肉類、魚介類、大豆製品、卵、牛乳・乳製品、芋、野菜、海藻、油、果物などまんべんなく）



「フレイル（虚弱）」予防

低栄養は、要介護状態一步手前の「フレイル（虚弱）」の要因にもなります。フレイル状態をそのまま放置しておくと、体の機能低下により要介護状態になる可能性が高くなります。

村ではフレイル予防事業として、65歳以上の方に質問票を用いて面接しリスクがあるかどうか調べています。今年度は氏名が「か行」の方が対象です。（ただし、施設入所中、入院中、要介護認定を受けている方、デイサービスを利用している、介護予防教室に参加している方は対象外としています。）

対象となった際にはご自身の健康状態を把握する意味でも是非事業へのご協力をお願いします。もちろん事業の対象ではなくても「自分は栄養が摂れているか心配」等ありましたらお気軽にお問合せください。



問 保健福祉センター ☎ 9-3050

visitor's voice
- 移住体験者の声

このコーナーでは、短期移住体験住宅の利用者からいただいた声を、抜粋してご紹介いたします。

今回の「声の主」
70代女性
愛媛県在住
滞在期間
7/5～9/29



お気に入りの一枚

コメント
「色々な色に染まる『フジサン（本当は敏音知岳）』、素敵ですね」

こんにちは
以前、ご縁があつて村を訪れた際にここがとても気に入りました。今後も二地域居住を続けることを視野に滞在しました。
音威子府村は交通の利便性が良く、医療をはじめ色々な施設、また野外屋内設備が整つており、北大研究林を有し、木材を生かせる木遊館があります。おと高生やおと高卒業生の作品展、砂澤ビッキ氏、高橋昭五郎氏、咲来在住の森川亮輔氏の作品、そして色鉛筆作家の川崎映氏の作品などに直に触れる機会があり「森と匠の村」であるとともに芸術の村でもあり、大いに魅力を感じます。

周囲は豊かな自然に恵まれて、訪れる度に新たな発見があります。「北海道で一番小さい村」という事も惹かれた理由の一つで、村が一丸となつて取り組むことが出来る環境作りにも役買つていると感じます。「何も無い」のでは無く、「ない」ところから新しい何かが生まれてくるのだと思います。それが友情、希望、夢、生きがいなどに繋がると思います。地元に戻っている時も友人や知人にこの村の良さについて話をしていきます。友人からは「一緒に村に行つてみたい」と言われます。現在は村とのより良い関わり方について二地域居住を含めて色々と考えを巡らせております。村内の皆様にあたたかく見守つて頂き有難うございました。

今年度の短期移住体験住宅については、試験的な取り組みとして、「完全移住」や「二地域居住」および「継続的な関わり」について前向きにご検討いただける方に、優先的にご利用いただくこととされています。

秋のヒグマによる人身被害の防止
～ヒグマとの事故を防ぐために～

○複数で行動し、音で存在を知らせましょう。

野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。入山する時は、クマ鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせましょう。

○ヒグマの出没情報等に気を付けましょう。

薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認しましょう。

○残飯や生ゴミの処理には注意しましょう。

ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

○フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう。

ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。

○落ち着いて行動しましょう。

万が一、ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動しましょう。逃げたり、さわいだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険があります。リュックや持ち物の回収はせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。



名寄警察署
news

名寄警察署 ☎ 01654 - 2 - 0110
美深警察庁舎 ☎ 2 - 1110
音威子府駐在所 ☎ 5 - 3300
警察相談電話 ☎ #9110

エコミュージアムおさしまセンターからのお知らせ

☎エコミュージアムおさしまセンター ☎5-3980

特別企画展 頓別坊展～先人たちの足跡～

箴島地区の奥地に流れる「頓別坊川」に関する特別企画展を開催します！村民にもあまり知られていないこの川には、隠れた歴史や魅力が多くあります。本展示では、「歴史」や「生物」、「岩石」などの様々な視点で頓別坊川をご紹介します！

エコミュージアムで開催される、今シーズン最後の企画展となります。ぜひ、ご来場ください。

会期	9月21日(木)-10月31日(火) 9:30-16:30 ※休館日：月曜(祝日時は、翌日)
場所	エコミュージアムおさしまセンター
入館料	300円(村民および中学生以下は無料)

ビッキの木の集い 開催します

エコミュージアムおさしまセンターのすぐそばに広がる北大中川研究林：箴島原生保存地区。その中に、生前の砂澤ビッキが愛したアカエゾマツの巨木、通称「ビッキの木」があります。

秋が深まる研究林内の散策と、ビッキ作品の鑑賞を解説付きで行う「ビッキの木のつどい」を開催します。秋の箴島で、自然と芸術を満喫しませんか？



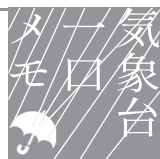
日時	10月21日(土) 9:00-14:30
集合場所・申込先	エコミュージアムおさしまセンター 電話 5-3980 電子メール bikky.atelier.3more@gmail.com
申込締切	10月18日(水)
プログラム(予定)	◇午前の部：研究林散策(川崎学芸員による解説付き) ◇午後の部：館内見学(河上名誉館長による解説付き)
持ち物	・野外に適した服装(靴、防寒着、雨具等) ・弁当、飲み物 ※午後の部も参加ご希望の方
参加費	無料
定員	先着17名 ※定員になり次第、受付終了
注意事項	◇午前の部・午後の部どちらか一方のみの参加も可 ◇お申し込みの際に【氏名・住所・年齢・参加時間帯】をお知らせ下さい ◇雨天開催(状況によって内容を変更することがあります) ◇感染症対策にご協力ください
共催	エコミュージアムおさしまセンター 北海道大学中川研究林

▽情報提供
旭川地方気象台 0166-32-7102
<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html>

2018年9月6日3時7分に「北海道胆振地方中東部」地震でマグニチュード6.7の地震が発生し、上川・留萌地方でも広い範囲で震度4を観測しました。この地震により胆振地方を中心に土砂崩れや家屋の倒壊などがあり、多くの方が被害に遭われました。また、数日間に及ぶ大停電が発生し、大きな影響を及ぼしました。日本は、どこでも規模の大きな地震が発生する可能性がありますので、いざというときにどうするか、家族と話したい普段から災害への備えを行うことが重要です。また、家に備えておく備蓄品(食糧、飲料水)のほか、非常持ち出し品や冬の備えも必要です。



9月1日の「防災の日」は、今から100年前の9月1日に発生した「関東大震災」の地震や津波等の災害にちなんであります。また、台風、豪雨、豪雪、洪水等の災害について認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と災害の軽減に資するため、この日を含む1週間を「防災週間」としています。



災害への備え
「くらしのこわい」のため...



開催中 -09/18(月祝)	音威子府展 U22 -2023- (おと高卒業生 U22 公募展 エコミュージアムおさしまセンター 9:30-16:30)
09/16 (土)	北大中川研究林 自然観察会 2023 秋 (※要事前予約 集合:北大中川研究林庁舎 8:50-16:00)
09/21 (木) -10/31 (火)	先人たちの足跡～頓別坊展～ (エコミュージアムおさしまセンター特別企画展 9:30-16:30)
09/24 (日)	小中学校 学芸祭 (小中学校体育館 9:00-)
10/21 (土)	ビッキの木の集い (申込締切:10/18 集合:エコミュージアムおさしまセンター 9:00-14:30)
10/31 (火)	エコミュージアムおさしまセンター・高橋昭五郎彫刻の館 クローズ (9:30-16:30)

むらの人口
(令和5年8月末現在)

641 人
(前月比 -4人)

うち男性 345 人
女性 296 人
世帯数 441 戸

交通事故死ゼロ
(令和5年8月末現在)

237 日

今月の表紙

♪森の中からドラミング♪

〔公民館教室〕

8月29日(火)
地域の方々とおと高卒業生が、賑やかにおしゃべりしながらデコフレームづくり。

◇暦の上ではすっかり秋なのですが、、、暑い！いつまでも暑い！！みなさま、体調は崩されてはいないでしょうか？

◇先日、北広島市にある野球場「エスコンフィールド HOKKAIDO」にて、地域PRを行ってきました(詳細は、来月号にて)。新球場とあって、野球にさほど詳しくない私でも楽しめるような工夫や、ワクワクするような仕掛けがたくさんあり、様々な誘惑に打ち勝つのが大変でした(笑)

◇時代とともに気候もエンタメも変化することを改めて実感しました。猛暑は勘弁してほしいですが、変化に柔軟に対応できる心を持ち続けたいですね。(おっしー)



広報おといねっぷ

令和5年9月号 第588号

◇印刷 (株) 旭川アートプロセス
◇発行・編集 北海道音威子府村役場
〒098-2501 中川郡音威子府村字音威子府
444番地1